



PFAS < PFOS PFOA > って何?

PFASって

1940年代に開発された危険な有機フッ素化合物。代表的なものにPFOS、PFOAがある。現在までに、世界中で様々な用途で使われてきた。その種類は3500〜5000種あると言われ、その中で最も広く利用され、研究されているのがPFOSとPFOAである。これらは界面活性効果、撥水性、撥油性を有し、極めて安定で生体内や自然環境中に長く残留、蓄積する。

PFOS PFOA っ

泡消火剤油圧作動油などに利用されていた残留有機フッ素化合物。自然界では、ほとんど分解されず、汚染された水を飲み続けた時などに、体内に蓄積される。2000年頃から体内がんや胎児・乳児の発育障害の原因となる恐れが指摘され、国内で製造・使用が禁止された。



PFHxS っ

人体に有害な影響が指摘されている有機フッ素化合物。発がん性が指摘されているPFOSの代替物質として、消火剤に使われている。コレステロール値や肝機能への影響が指摘されている。

諸外国のPFOS・PFOAの目標値 (単位:ng/L)		
	PFOS	PFOA
カナダ	600	200
豪州	70	560
米国	70	70
デンマーク	100	300
イタリア	—	500
スウェーデン	90	90
オランダ	530	—
英国	300	10000
ドイツ	300	300
日本	50	50

基準値

米国の環境保護庁は2016年飲料水の健康勧告値を1リットルあたり70ナノグラムと定めた日本は基準値なしと定めた。日本は基準値なしと定めた。日本は基準値なしと定めた。日本は基準値なしと定めた。

※豪州のPFOSはPFHxSとの合計
※米国と日本はPFOS・PFOAの合計
※スウェーデンはPFOS・PFOA含む11物質の合計

泡消火剤って?

燃焼物の表面を大量の泡で覆い、冷却及び窒息効果で消火する薬剤。放出された泡は長時間消えないため、再着火の危険性が少なく、石油などの引火性液体危険物の火災に威力を発揮する。近年、有機フッ素化合物PFOS など国際的に規制が進んでいる有害物質を含む製品が問題となっている。



日本国の水質基準暫定目標値が20、4月1日に設定された。(1リットルあたり50ナノグラム)
泡消火剤燃焼物の表面を大量の泡で覆い、冷却及び窒息効果で消火する薬剤。放出された泡は長時間消えないため、再着火の危険性が少なく、石油などの引火性液体危険物の火災に威力を発揮する。近年、有機フッ素化合物PFOS など国際的に規制が進んでいる有害物質を含む製品が問題となっている。

PFOS PFOA 調査

~村当局へ水質調査要請~

恩納村議会基地問題対策委員会では、令和3年9月17日の新聞各紙の新聞紙面において、金武地区公園西側の米軍キャンプ・ハンセン、フェンス沿いの海に続く排水路から有害な有機フッ素化合物PFOSとPFOAが検出されたことを受け、同月24日委員(6名)を招集し委員会会議を開きました。同じキャンプ・ハンセンを取り巻く本村としても長期に渡る米軍夜間訓練による照明弾や実弾演習場として使用された場所においても、これまでに幾度となく火災等の訓練事故が発生している事から、演習地内において、泡消火剤(有機フッ素化合物を含むとされている)の使用も否定できない。先祖代々から受け継がれ、連山から湧き出る自然豊かな水は今現在、各々の行政区が管理し区民が雑用水として利用しています。立ち入りを禁止されている軍用地内に取水源のある区では、自由に現場確認、調査も出来ないことから地域住民は、多大な恐怖と不安を禁じ得ないことから、村民の生命と安全、安心な暮らしを守る立場にある本村議



キャンプ・ハンセン



取水源のある軍用地内を望む (恩納村)

会は、恩納村当局に対し、軍用地内現場調査と村内15行政区の主要河川口、及び雑用水取水口からの水質調査を実施し、調査の結果報告を早急に行うよう要請しました。

PFASは危険な有機フッ素化合物で、約5千種が知られている。代表的なものにPFOSとPFOAがある。

PFASは1940年代に開発され、現在まで世界中で様々な用途に使われてきた。その種類は3500〜5000種あると言われ、その中で最も広く利用され、研究されているのがPFOSとPFOAである。これらは界面活性効果、撥水性、撥油性を有し、極めて安定で生体内や自然環境中に長く残留、蓄積する。

PFOS、PFOAなどの有機フッ素化合物は、自然界では、ほとんど分解されず、汚染された水を飲み続けた時などに、体内に蓄積される。

PFOSとPFOA泡消火剤油圧作動油などに利用されていた残留有機フッ素化合物。2000年頃から体内がんや胎児・乳児の発育障害の原因となる恐れが指摘され、国内で製造・使用が禁止された。

PFHxS(ピーエフヘクスエス)人体に有害な影響が指摘されている有機フッ素化合物。発がん性が指摘されているPFOSの代替物質として消火剤として使われている。コレステロール値や肝機能への影響が指摘されている。

米国の環境保護庁は2016年飲料水の健康勧告値を1リットルあたり70ナノグラムと定めた日本は基準値なし。